

保育園自己評価表

2025年度

園名 まあむキッズ大野なごみ本園

保育目標の達成	職員間の連携	地域とのコミュニケーション
【目標】 ・思いやりのある優しい子 ・自分で決めて自分でおこなえる子 【達成度】 ・日々の生活や遊びの中で、一人ひとりの子どもの思いや気持ちを受け止めながら、安心して過ごせる環境づくりを大切にした。異年齢での関わりや友だちとの交流を通して、相手を気遣ったり、困っている友だちに声をかけたりする姿も見られた。 ・子どもたちが友だちと関わる中で生まれる「こうしたい」という思いや意見の違いにも寄り添い、それぞれの気持ちを受け止めながら、相手の思いに気づくことができるよう関わった。一人ひとりの育ちや個性を大切にしながら、友だちと共に過ごす楽しさや、人とのつながりを感じられる保育につながった。 ・子ども自身が「何をしたいか」を考え、自分で選んだり、試したり、友だちと相談したりしながら、自分たちで遊びを広げていく機会を大切にした。今後も一人ひとりの思いや育ちに寄り添いながら、自分で選び、考え、行動できる力を育んでいく。	・子ども一人ひとりの様子や保育上の課題について職員間で情報を共有し、声を掛け合いながら連携して保育を行うことができた。担任だけで抱え込むのではなく、困った時には相談し合い、それぞれの職員の考えや経験、強みを活かしながら、チームで子どもたちを見守る意識が深まった。 ・子どもの声や思いを大切にし、遊びや活動の中で「やってみよう」「こうしたい」という気持ちを受け止めながら保育を進めた。特に環境構成や環境改善については、職員間で意見を出し合い、それぞれの気付きを活かし合いながら工夫することで、子どもたちがより主体的に遊びに自分で遊びを選び、興味や関心に応じて主体的に取り組む姿につながった。 ・年度末の保護者アンケートでは、保育や行事について温かい意見をいただく一方、日々の保育内容や子どもたちの育ちが十分に伝わっていない部分も見えてきた。職員間でアンケートの結果を共有し、保護者の声を今後の保育や園運営の見直しにつなげた。 ・行事についても、子どもたちの普段の姿や育ちの過程を大切にすることを職員間で確認し、内容や方法を見直した。今後も、保護者に日々の保育や子どもたちの育ちがより伝わるよう、保育の伝え方や発信の方法について職員間で考え工夫していきたい。	・散歩や公園で出会う地域の方々に、職員から積極的に挨拶や声かけを行い、子どもたちも自然に地域の方と関わるができるよう努めた。 ・野菜の苗やクッキングの材料を地域のお店へ買いに行くなど、地域の方と触れ合う機会を大切にした。また、近くの神社で行われた節分会では、境内の壇上から豆まきをするお手伝いをさせていただくなど、地域の行事に参加し、地域の方々との交流を深めることができた。 ・子育て広場に参加される親子や見学に来られる方にも積極的に挨拶をし、会話を楽しむ中で、育児についての相談を受けるなど、地域の子育て家庭との交流を深めることができた。 今後も、日頃からの挨拶や感謝の気持ちを大切にしながら、地域の方々との関りを通して、子どもたちが地域に親しみを感じられるよう、地域とのつながりを育んでいきたい。

この評価のつけ方：

職員の年度末の振り返りや保護者アンケートの結果をもとに、園の取組や成果、今後の課題を施設長が整理する。